



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社 太平製作所

上場取引所 東 名

コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 慎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,371	△24.5	△337	—	△275	—	△214	—
25年3月期第3四半期	3,140	△15.5	108	△80.1	116	△78.4	60	△88.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △205百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 57百万円 (△89.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△15.94	—
25年3月期第3四半期	4.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	5,868	2,918	49.7	217.39
25年3月期	6,337	3,178	50.2	236.73

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,918百万円 25年3月期 3,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想)の配当につきましては現時点では未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	△11.4	80	△59.9	100	△52.0	60	△38.5	4.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	15,000,000 株	25年3月期	15,000,000 株
26年3月期3Q	1,574,980 株	25年3月期	1,574,354 株
26年3月期3Q	13,425,422 株	25年3月期3Q	13,425,646 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内におきましては、新政権の発足以来景気回復の兆しが少しずつ見え始め、国内需要が上向きに持ち直しつつありますが、世界経済におきましては欧州の債務危機に伴う景気低迷問題が継続中であることから依然として厳しい状況のなか推移いたしました。当社を取り巻く事業環境も、住宅着工戸数のわずかながらの上昇により景気持ち直しの動きが一部地域では見え始めてはおりますが、全体としてはいまだ低水準であることから先行き不透明な状況であります。

このような状況の中、当社グループといたしましては、販売活動と開発活動に努力しましたが、受注獲得までには至らず、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,371百万円（前年同四半期比24.5%減）となりました。

また、材料等のコストを少しでも削減するよう原価計算を細かく実施し、売上減少の反動を少しでも軽減するよう努めましたが、結果として営業損失は337百万円（前年同四半期は108百万円の営業利益）、経常損失は275百万円（前年同四半期は116百万円の経常利益）、四半期純損失は214百万円（前年同四半期は60百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、国内の景気は徐々に上向きにありますが、雇用環境はいまだ厳しく販売活動は困難を極め、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,253百万円（前年同四半期比24.1%減）となりました。営業損失につきましては、売上減少と材料費の高騰により159百万円（前年同四半期は77百万円の営業利益）となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、木工業界全体に持ち直しの動きが徐々に見え始めておりますが、設備投資意欲はいまだ回復途上であるため安定した受注確保が難しく売上計上に至らなかったのが現状です。このような状況により、当第3四半期連結累計期間の売上高は226百万円（前年同四半期比72.3%減）となりました。営業損失につきましては、売上が減少したことに加え、材料価格の高騰が現状も続いていることから、139百万円（前年同四半期は110百万円の営業利益）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、住宅建材業界全体に持ち直しの動きが見え始め、住宅着工戸数も上向きになりつつあることから、当第3四半期連結累計期間の売上高は891百万円（前年同四半期比32.7%増）となりました。営業利益につきましては、売上の増加に加え、コスト削減に努力した結果、43百万円（前年同四半期比96.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.6%減少し、3,825百万円となりました。これは主に、現金及び預金が289百万円減少、受取手形及び売掛金が450百万円減少し、たな卸資産が222百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、2,042百万円となりました。これは主に、有形固定資産が51百万円減少、無形固定資産が9百万円増加、投資その他の資産が29百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて7.4%減少し、5,868百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.8%減少し、2,252百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が328百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が50百万円減少、未払法人税等が61百万円減少、前受金が291百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.9%減少し、697百万円となりました。これは主に、長期借入金50百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、2,949百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.2%減少し、2,918百万円となりました。これは主に、利益剰余金が267百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、国内市場は徐々に上向きになりつつある反面、海外につきましては厳しい状況であり、住宅着工戸数につきましても低水準であることから不安定な状況であり、先行きにつきましても不透明な厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社の主力合板機械事業での大型機械は全て受注生産であることから、受注から売上計上に至るまでには、納期が長期間必要であることや、客先の都合で機械の納入が遅れるといった要因等もあり、売上を安定して計上することが困難な状況であります。また、新製品の開発や現状機械のグレードアップを図るなど、受注確保に向けて日々努力しており、少しずつ成果が出始めている機械もありますが、さらなる取り組みが必要な状況です。

このような課題を抱えながら、当社グループは、積極的な販売活動と新しい製品の開発、現状機械の改良・改善に一層力を入れ、設備の稼働が安全に出来るようなバックアップ体制の構築に努めるなど、グループ一丸となって取り組んでまいり所存であります。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,163,785	1,873,894
受取手形及び売掛金	1,241,231	790,787
有価証券	100,000	100,000
製品	170,325	110,164
仕掛品	334,725	591,626
原材料及び貯蔵品	172,314	198,341
その他	104,608	164,297
貸倒引当金	△5,608	△3,391
流動資産合計	4,281,383	3,825,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	710,052	680,203
土地	689,746	689,746
その他（純額）	252,650	230,673
有形固定資産合計	1,652,449	1,600,623
無形固定資産	45,918	54,976
投資その他の資産	357,355	387,156
固定資産合計	2,055,723	2,042,756
資産合計	6,337,107	5,868,476
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	954,854	626,844
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	150,000
未払法人税等	62,124	989
賞与引当金	49,699	26,340
役員賞与引当金	21,000	15,750
その他	280,196	582,919
流動負債合計	2,417,874	2,252,844
固定負債		
長期借入金	200,000	150,000
繰延税金負債	116,188	118,450
退職給付引当金	190,295	195,127
役員退職慰労引当金	9,288	10,151
その他	225,206	223,417
固定負債合計	740,978	697,146
負債合計	3,158,853	2,949,990

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	2,530,862	2,263,065
自己株式	△205,485	△205,561
株主資本合計	3,152,577	2,884,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,675	33,780
その他の包括利益累計額合計	25,675	33,780
純資産合計	3,178,253	2,918,485
負債純資産合計	6,337,107	5,868,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,140,011	2,371,560
売上原価	2,482,990	2,149,336
売上総利益	657,020	222,223
販売費及び一般管理費	548,618	560,101
営業利益又は営業損失(△)	108,402	△337,878
営業外収益		
受取利息	517	750
受取配当金	3,534	3,268
鉄屑売却収入	2,840	3,162
デリバティブ評価益	4,922	—
保険解約返戻金	2,575	61,633
その他	7,651	4,625
営業外収益合計	22,040	73,440
営業外費用		
支払利息	10,539	11,442
その他	3,194	31
営業外費用合計	13,733	11,473
経常利益又は経常損失(△)	116,709	△275,912
特別損失		
固定資産除売却損	2,519	—
特別損失合計	2,519	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	114,190	△275,912
法人税、住民税及び事業税	25,210	2,355
過年度法人税等戻入額	—	△7,195
法人税等調整額	28,426	△56,977
法人税等合計	53,637	△61,817
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	60,553	△214,094
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,553	△214,094

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	60,553	△214,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,333	8,104
その他の包括利益合計	△3,333	8,104
四半期包括利益	57,219	△205,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,219	△205,989

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,651,817	816,679	671,514	3,140,011
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	127	—	127
計	1,651,817	816,807	671,514	3,140,139
セグメント利益	77,928	110,183	22,095	210,207

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	210,207
セグメント間取引消去	△127
全社費用（注）	△101,676
四半期連結損益計算書の営業利益	108,402

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,253,956	226,439	891,164	2,371,560
セグメント間の内部売上高及び振替高	381	2,116	—	2,497
計	1,254,337	228,555	891,164	2,374,057
セグメント利益又は損失（△）	△159,963	△139,946	43,481	△256,428

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△256,428
全社費用（注）	△81,449
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△337,878

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。